



第26期 決算説明会

2011年12月22日 (木)

株式会社 神戸物産

• 神戸物産の沿革	1
• 連結業績の概要 損益計算書	2
• 販売管理費内訳	3
• 連結業績の概要 貸借対照表	4
• 製販一体の仕組み	5
第1次産業	6
第2次産業	7
第3次産業	8
• 業態説明	
業務スーパー	9
中食 外食業態	10
• 新外食業態 Green's K 鉄板ビュッフェ	11
• 今後の取り組み	12

神戸物産の沿革

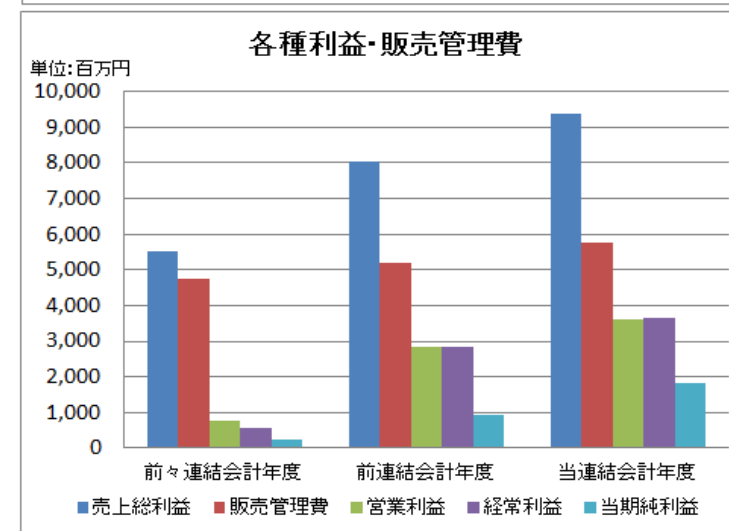
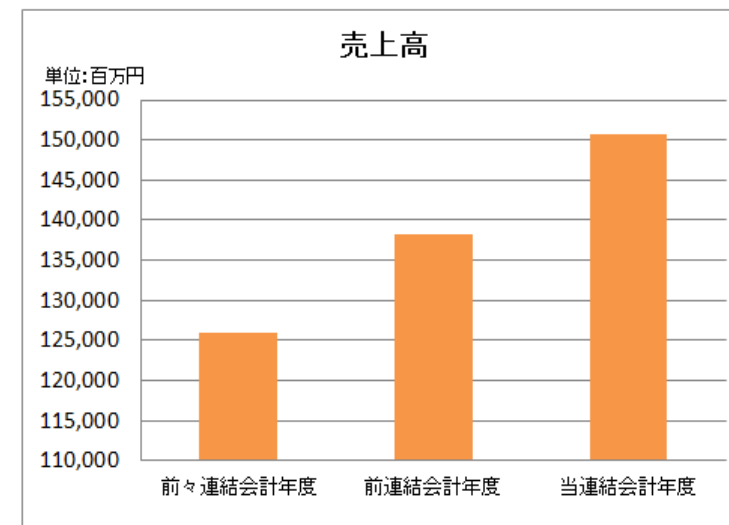
1981年	4月	兵庫県加古川市神野町石守において、フレッシュ石守として食品スーパーを開業
1985年	11月	有限会社フレッシュ石守を兵庫県加古川市に設立
1991年	4月	株式会社フレッシュ石守に組織変更
1992年	7月	大連福来休食品有限公司を中国遼寧省に設立
2000年	3月	「業務スーパー」FC1号店を兵庫県三木市に開店
2001年	10月	株式会社フレッシュ石守が旧株式会社神戸物産を吸収合併し、同時に株式会社神戸物産に社名変更
2004年	1月	神戸物産（香港）有限公司を中国香港行政区に設立
2004年	2月	神戸物産（安丘）食品有限公司を中国山東省に設立
2006年	4月	「神戸クックワールドビュッフェ」FC1号店を兵庫県加古川市に開店 本社事務所を兵庫県加古郡稲美町に移転
2006年	6月	大阪証券取引所市場第二部に株式を上場
2006年	10月	KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnershipをエジプトに設立
2007年	10月	関西物流センターを神戸市灘区に開設
2008年	3月	株式会社オースターエッグ、株式会社プライムリード、株式会社ターメルトフーズをグループ会社とする
2008年	4月	株式会社ベストリンケージを設立
2008年	10月	株式会社神戸物産エコグリーン北海道を設立
2008年	11月	株式会社ソイキューブを設立
2009年	2月	株式会社マスゼンを設立
2009年	3月	秦食品株式会社を設立
2009年	4月	株式会社神戸ほっとデリを50%出資で設立し、株式会社ローソンとの合併会社とする
2009年	5月	株式会社肉の太公、宮城製粉株式会社を設立 「Green' s K」FC1号店を東京都江東区に開店
2009年	10月	株式会社麦パン工房を設立
2010年	2月	株式会社神戸クックを設立
2010年	6月	株式会社OK' s クリエイトを50%出資で設立し、株式会社オークワとの合併会社とする 株式会社オーデリカ' s Kを株式会社神戸クックが50%出資で設立し、株式会社オークワとの合併会社とする
2010年	10月	Kobe Bussan Green Egypt Co., Ltd. をエジプトに設立
2011年	3月	株式会社神戸物産エコグリーン埼玉を設立
2011年	8月	新業態「Green' s K 鉄板ビュッフェ」1号店を和歌山県に開店
2011年	10月	株式会社川口工業を設立 株式会社神戸機械製作所を設立



連結業績の概要 損益計算書

単位:百万円

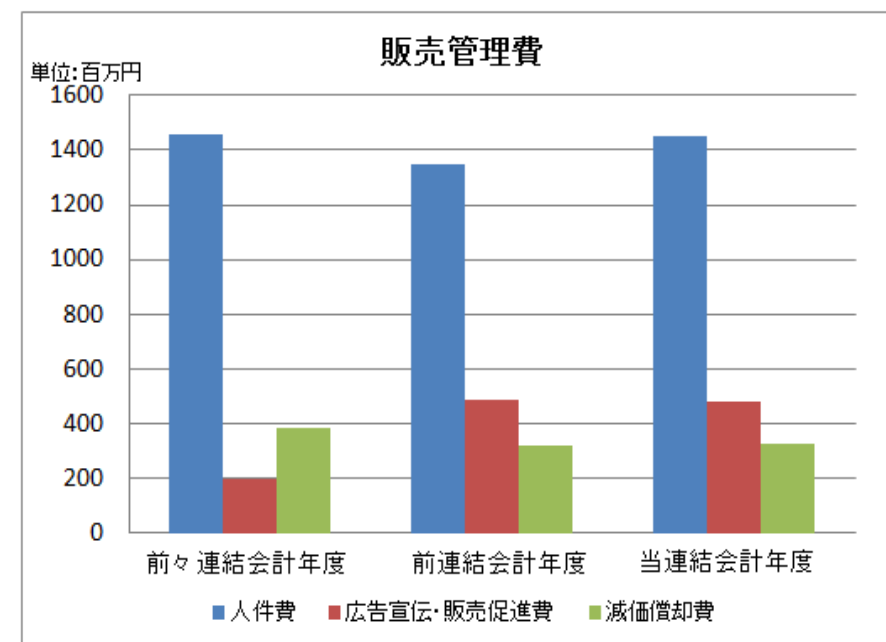
事業年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減比率	売上比率	
				前連結 会計年度	当連結 会計年度
売上高	138,234	150,682	9.0%	100%	100%
売上総利益	8,028	9,356	16.5%	5.8%	6.2%
販売管理費	5,177	5,760	11.3%	3.7%	3.8%
営業利益	2,851	3,596	26.1%	2.1%	2.4%
経常利益	2,843	3,581	26.0%	2.1%	2.4%
当期純利益	948	1,754	85.0%	0.7%	1.2%



販売管理費内訳

単位:百万円

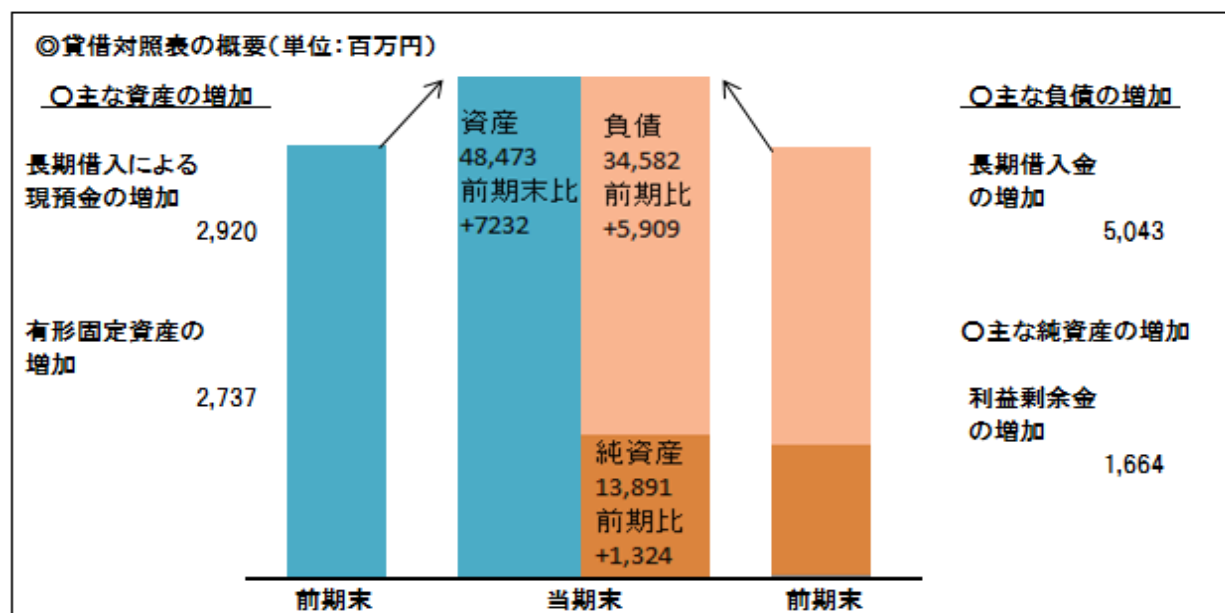
事業年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減比率	売上比率	
				前連結 会計年度	当連結 会計年度
人件費	1,348	1,438	6.7%	1.0%	1.0%
広告宣伝・ 販売促進費	486	460	△5.3%	0.4%	0.3%
減価償却費	321	327	1.9%	0.2%	0.2%
総計	5,177	5,760	11.3%	3.7%	3.8%



連結業績の概要 貸借対照表

単位:百万円

事業年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減
流動資産	31,917	36,612	4,695
固定資産	9,324	11,861	2,537
資産合計	41,241	48,473	7,232
流動負債	13,382	14,021	639
固定負債	15,291	20,561	5,270
負債合計	28,673	34,582	5,909
純資産	12,567	13,891	1,324



製販一体の仕組み



製販一体の仕組み

第1次産業

株式会社神戸物産エコグリーン北海道

所有地面積(2011年11月末現在): 約1,214ha
3,000haの農地取得を目指す



KOBE BUSSAN EGYPT

Limited Partnership

保有農地面積(2011年11月末現在): 約2,732ha
根菜類などのテスト栽培を継続中



製販一体の仕組み 第2次産業

食の製販一体を実現。徹底的に「ムダ」「ロス」「非効率」を排除し、安全安心な商品をベストプライスでご提供。

『国内外のグループ工場』

大連福来休食品有限公司

神戸物産(安丘)食品有限公司

株式会社オースターエッグ

株式会社ターメルトフーズ

株式会社ソイキューブ

秦食品株式会社

株式会社マスゼン

株式会社肉の太公

株式会社麦パン工房

宮城製粉株式会社

株式会社神戸物産エコグリーン北海道

株式会社エコグリーン埼玉

株式会社川口工業

株式会社神戸機械製作所



製販一体の仕組み

第3次産業

肉食

- 飲食店事業者が扱う業務用サイズから一般消費者サイズまで多様な品揃え。
- 徹底したローコストオペレーションによるEDLP体制。

プロの品質とプロの価格
業務スーパー

中食・外食

- グループ工場で作り上げる各パーツを組み合わせ店内調理することで、出来立て熱々の商品を提供し、食材廃棄ロスの低減、リーズナブルな料金設定が可能に。
- 新業態「Green's K 鉄板ビュッフェ」の加速度的出店。



飼料・敷料の栽培、国産牛の肥育・加工、販売の全てを年内に50%以上の製販一体、来年末までに100%を自社で一貫して行う「真の」製販一体を目指します。



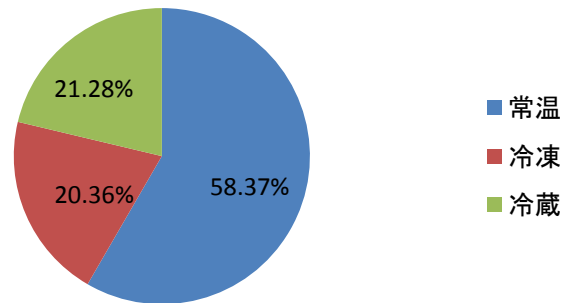
業態説明 業務スーパー

プロの品質とプロの価格
業務スーパー

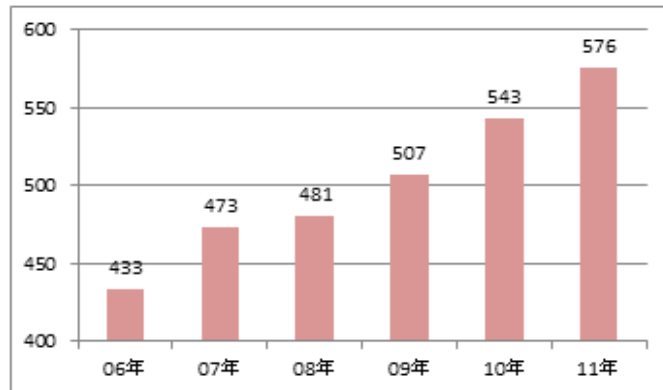
①業務スーパーの概要（2011年10月末現在）

店舗数	576店舗
加盟社数	85社
1店舗平均出荷額/月	約2,820万円
平均アイテム数	約2,300アイテム

②温度別売上高構成比



③店舗数の推移



業態説明

中食・外食業態

ワールドビュッフェ

店舗数: 12店舗(2011年10月末)

形態: 単独店舗・ショッピングセンターイン型

場所: 兵庫県・広島県・宮城県など



Green's K

店舗数: 15店舗(2011年10月末)

形態: 単独店舗・スーパーイン型

場所: 兵庫県・大阪府・愛知県・静岡県など



神戸ほっとデリ

店舗数: 39店舗(2011年10月末)

形態: ローソン様店舗とのJV

場所: 兵庫県・大阪府・東京都・静岡県・北海道など



新外食業態

Green's K 鉄板ビュッフェ



鉄板ビュッフェ

<特徴>

- ビュッフェとセルフクックが融合したレストラン
- 各テーブルに鉄板をセット
- ヘルシー食材
- 日本初の試み
- 人件費の大幅な削減が可能

<店舗数>

8店舗(2011年10月末)

<場所>

兵庫県・大阪府・和歌山県・広島県・茨城県

<27期目標>

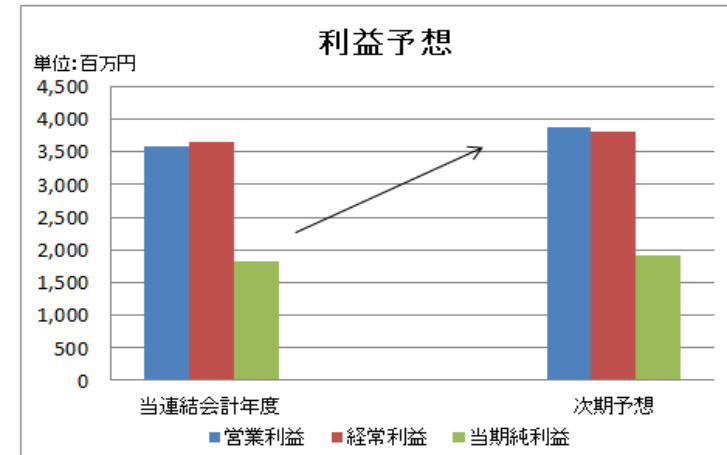
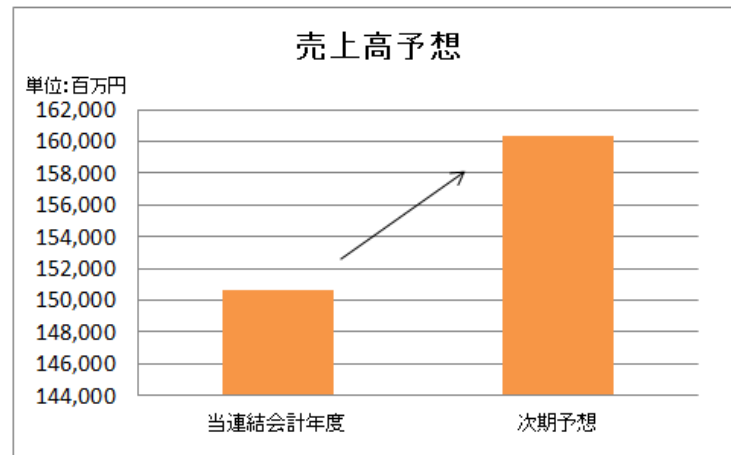
- 海外展開
- 国内で100店舗展開



今後の取り組み

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
27期予想値(連結)	160,200	3,870	3,800	1,910
26期実績値(連結)	150,682	3,596	3,581	1,754
増減率	6.3%	7.6%	6.1%	8.9%



～当社の今後の取り組み課題～

- ・ 貿易、冷凍、業務用のオリジナル商品の開発強化
- ・ 食品工場、農畜産業の更なる強化
- ・ 海外メーカーの協力体制、開拓強化
- ・ 品質管理体制の強化(人材育成)
- ・ 時間コストを削減し、ムダ・ロス・非効率を徹底的に排除
- ・ キャッシュフローの有効利用(有形資産の取得)
- ・ 新規FC加盟店様の開拓
- ・ 真の製販一体体制の構築
- ・ 業務スーパー店舗数の増加(50店舗増)
- ・ 安心・安全確保のための商品管理
- ・ 中食・外食事業の拡大
- ・ 新業態の海外展開



- 本資料には、平成23年10月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承くださいませ。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
STB部門 矢合・榎本
TEL:079-496-6616
FAX:079-496-6620

